

2026 年 10 月 27 日

各 位

2026 年 12 月期第 3 四半期連結決算

中外製薬株式会社（本社：東京、代表取締役社長 CEO：奥田 修）は、本日、2026 年 12 月期第 3 四半期連結決算を発表しました。

- Core 売上収益は 10,681 億円（前年同期比 17.2%増）、Core 営業利益は 5,361 億円（同 19.0%増）、Core 四半期利益は 3,847 億円（同 20.2%増）となり、前年同期比で増収増益。通期予想に対し、過達を見込む
- 製商品売上高は、NEMLUVIO®とアレセンサ®輸出の増加や国内の主力品および新製品が増加。なお、次世代基幹業務基盤（ERP）の稼働に向けた移行対応として、国内の出荷時期を前倒したことにより、国内製商品売上高が増加。その他の売上収益もヘムライブラ®、NEMLUVIO のロイヤルティ収入に加え、一時金収入により増加
- 研究開発活動は、自社創製品をはじめとする開発早期・後期で着実に進捗
 - ・ 独自の抗体エンジニアリング技術を用いたエンスプリング®について、甲状腺眼症（TED）に対し、米国食品医薬品局（FDA）が承認
 - ・ 世界的権威のあるラスカー・ドゥベキー臨床医学研究賞を受賞した当社研究者が創製を主導した血友病 A 治療薬ヘムライブラについて、治療負担のさらなる軽減を目指したオートインジェクター製剤を国内外で 2027 年に上市を目指す
 - ・ emugrobart について、ロシュからのライセンス返還を予定。また、脊髄性筋萎縮症（SMA）に対し、第三者への導出も含め自社開発再開に向けて準備を開始
 - ・ ルンスミオ®の再発又は難治性濾胞性リンパ腫、セーフアキセルセンの IgA 腎症を対象とした第 III 相試験において、いずれも中間解析時点において主要評価項目を達成
 - ・ 自社創製品の DONQ52 について、セリアック病を対象とした第 Ia/b 相試験および第 Ic 相試験における Biological PoC 結果を 11 月の ICDS 2026（International Celiac Disease Symposium）にて発表予定

決算の詳細については、以下をご覧ください。

決算短信・補足資料

https://www.chugai-pharm.co.jp/ir/reports_downloads/tanshin.html

決算説明会資料

当社の業績動向に加え、研究開発パイプラインの進捗等をご確認いただけます。後日、動画およびスクリプトを掲載します。

<https://www.chugai-pharm.co.jp/media/conference.html>

【2026 年 12 月期 1-9 月実績】

Core 実績【億円】	2026 年 1-9 月	2025 年 1-9 月	前年同期比
売上収益	10,681	9,116	+17.2%
国内製商品売上高	4,063	3,437	+18.2%
海外製商品売上高	5,005	4,509	+11.0%
その他の売上収益	1,613	1,171	+37.7%
営業利益	5,361	4,505	+19.0%
四半期利益	3,847	3,200	+20.2%

以上